



銀座の言語景観4

日本大学文理学部国文学科
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 銀座における臨時的掲示の言語使用
- ファストファッション店の言語サービスの違い
- 日本食店からみた銀座
- 店舗入り口付近の掲示類からみた銀座
- 飲食チェーン店の言語使用—銀座と池袋を比べて—
- 「銀座」表記の影響—エリアによる違い—
- 中央通りの寿司店—東京方面と新橋方面の差—
- おわりに

第4章 日本食店からみた銀座

0313068 小杉菜々香

PDF 調査マニュアル&チェックシート (PDF)

4.1. 調査概要

食べログでディナーの予算が10000円以上の店舗を高級店、2000円以下の店舗をお手頃価格店として、看板とメニューの掲示の仕方、使用言語の差を調査する。

4.1.1. データ概要

高級店・お手頃価格店、各10店舗。
看板の総計は、44枚（高級店27枚、お手頃価格店17枚）。

4.2. 高級店とお手頃価格店の比較の観点

【看板の種類】

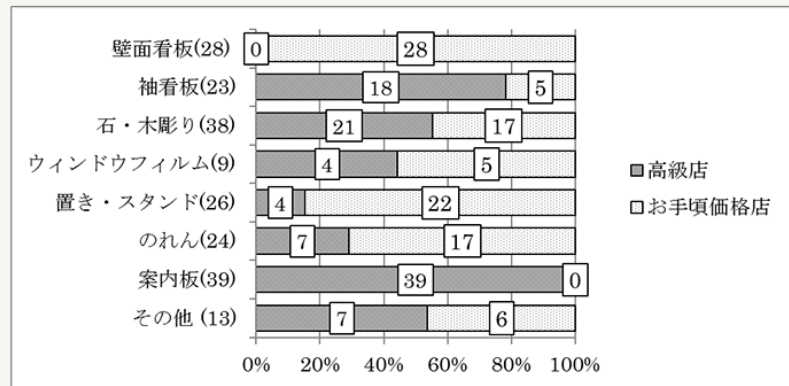


図1. 看板の種類

高級店10店舗中、7店舗がビルの中に入っている店舗だったため、案内板・袖看板がほとんどの店舗で見られた。木・石彫り看板も多く、高級感と上品さが感じられた。

お手頃価格店では、ラーメン屋に、スタンド看板が多く見られ、和菓子屋はのれんが多く、和菓子屋ならではの上品さを感じた。

【店前のメニューの有無】

店の前にメニューの掲示があった店舗は、高級店1店舗、お手頃価格店5店舗であった。お手頃価格店のそば屋のメニューには、多言語で表記があり、観光客向けであることが分かる。

【使用言語の差】

	高級店	お手頃価格
日・漢	10	10
日・ひ		1
日・カ		
日・ロ		1
英	1	4
中		2
韓		2
仏		1
伊		1
他		1

表1：多言語が使われていた店舗数

表1から、お手頃価格店がより多言語表記が見られることが分かる。

4.3. 日本食店の看板・メニューからみた銀座

今回調査した高級店とお手頃価格店の20店舗は、どの店舗も様々な特徴があり、看板の種類・店前のメニューの有無・使用言語の、価格帯での違いが見られた。高級店は日本人向け、お手頃価格店は観光客向けな店舗が多いという結果にはなったが、お手頃価格店とはいえ、上品さが感じられたり、どの店舗も日本らしさを感じることができるのは、観光客が多くオシャレな街という印象の強い「銀座」ならではの強みではないか。